



東京工業大学博物館・百年記念館
The Museum and Centennial Hall, Tokyo Institute of Technology

概要

「東工大らしさ」を集約し、学内外へ発信する拠点となる東京工業大学博物館が2011（平成23）年4月1日に誕生しました。博物館は、東工大で生み出された教育と研究の歴史的成果、現在進行している様々な先端研究や社会への応用実績、本学卒業生の社会における成果等を収集・調査・保存・研究及び伝承することにより、社会に向けて広く発信することを目的として活動しています。博物館の設立に伴い博物館相当施設としての指定を受けた、大岡山キャンパスの百年記念館とすずかけ台キャンパスのフロンティア創造共同研究センター棟1階にある展示室では、実体としての成果物を通じて東工大を感じて頂けると思います。さらに、参加者の方々が、研究者や学生と共通のテーマについて一緒に話し合いできるようなサイエンスカフェや特別展示などの企画を開催しています。これら活動は、博物館設立の源となった百年記念館における活動コンセプトに支えられ、引き継がれているものです。

■ 百年記念館について

東京工業大学百年記念館は、本学が創立100周年を迎えた1981（昭和56）年、「東京工業大学創立百年記念事業」の一環として計画され、1987年11月の開館以来、本学におけるミュージアム機能としての中心的な役割を果たしてきました。創立百年記念事業に当たっては、本学の同窓会である社団法人蔵前工業会を母体とする募金会（土光敏夫会長）が結成され、卒業生や関係の諸会社から寄せられた基金によってその計画が進められました。以下は、当時の募金趣意書に記された記念館設立の目的（抜粋）です。

「東京工業大学百年の歴史は、正にわが国工業の発展を支えた科学・技術の教育・研究の歴史そのものであり、（中略）その教育・研究に用いられた貴重な器材や文書・記録が数多く集積されています。これを体系的に整理し展示することは、たんに東京工業大学にとってだけでなく我が国全体の科学・技術の教育・研究の発展のため先人の果たした業績を明確にする意義をもつものであり、更にこれを踏まえて今後の一層の発展を図るための貴重な礎石となると考えます。

そこでこの記念すべき創立百年の時期に当たり、正に『科学・技術の教育・研究百年』の業績の展示・保存を中心とする『百年記念館』を建設し、そこに現在における科学・技術の最先端の所産をも併せて展示して、東京工業大学の速き将来に向けての一層の発展のための一大モニュメントとする計画であります。」

（東京工業大学創立百年記念事業資金募金趣意書より）

上記の趣意書にあるように、百年記念館は「科学・技術に関わる業績の保存と展示」を中心とした博物館的な建物としてその計画がスタートしました。百年記念館専門委員会（委員長平井聖教授）は、その具体像に対して「人からの伝承」と「物からの伝承」という2本の柱を核とするコンセプトを設定しています。つまり、先端の科学技術に取り組む態度や係わり方について、実社会にて様々な役割を果たされている先輩方と直接対話して学ぶこと〈人からの伝承〉と、創出された技術や研究成果にある背景を具体的資料を通じ学ぶこと〈物からの伝承〉ができる場の実現が目的でした。このコンセプトをもって百年記念館が誕生し、博物館へと繋がる今日までの運営の礎となりました。

建物の意匠設計には篠原一男教授が当たり、1986年10月着工、1年後の1987年9月に竣工しました。その後、竣工披露式典、募金会より東京工業大学への建物の寄附を経て、同年11月に開館を迎えました。また、展示に関しては百年記念館専門委員会の中に展示部会（主査道家達将教授）が設けられ、学内よりの収蔵品の収集、展示計画が作成され、同11月16日からは開館記念特別展示が開催されています。

百年記念館の開館以後、20年余りの間には、地階収蔵庫の改装による特別展示室の拡張や、2階の中小会議室の展示室化などが実施され、また特定のテーマに基づく企画展示会（特別展示）が年数回開催されるなど、博物館としての機能・活動の充実が図られてきました。そして、博物館となった今日では、近接する東工大蔵前会館（TTF）や2011年7月にオープンした新図書館と共に、〈人〉や〈物〉からの伝承・交流が日常的に行われる、本学ならびに地域における文化・科学技術に関する学術交流の中心拠点となっています。



館内ガイド

東京工業大学博物館・百年記念館は、1987年の開館より今日まで、キャンパスを代表するシンボルとして、また学内外を問わず広く地域に開かれた施設として、多くの方々に愛されご利用いただいています。内部には、展示室を中心に、会議室やレストラン・ラウンジおよび喫茶を有し、1階にある開放的な展示室は、主に企画展示やシンポジウムに利用される他、普段は隣接する喫茶と共に、自習や打合せ、談話のためのスペースとして自由にご利用いただけます。3階にはフェライト記念会議室と談話室があり、中規模の会議や講演会、レセプション等の催しが可能です。また、屈曲したハーフシリンドラーの4階には、キャンパスを見渡す眺望と共に食事を楽しむことができる、レストラン「角笛」があります。

地階と2階に分かれた常設展示室には、本学における教育・研究の歴史および現在を示す資料や周辺関連領域を含め、現在では展示対象資料約600点、文献資料約6,200点が収蔵されており、その一部を展示公開しています。これらは、当館設立以前から本学にあって教育や研究に活用されていた貴重な機器・物品等から、設立後に卒業生や学外から寄贈された資料・作品類等、多岐多様に渡ります。以下にその一部を紹介します。

平野耕輔陶磁器コレクション

東工大卒の陶芸・ガラス工芸・染色工芸家らの作品コレクション

ホログラフィー研究および作品コレクション

卒業生近藤茂制作絵画コレクション

正木退蔵資料

手島精一資料

森田清・西巻正郎研究室製作等真空管コレクション

谷口吉郎建築資料

篠原一男建築資料

東工大で使用された計測器・計算機コレクション

世界的技術遺産コレクション

東工大で使用された紡織機コレクション

東工大で開発された大型機械コレクション

古賀逸策水晶発振子研究資料

フェライト研究資料

和田小六学長を中心とする第二次世界大戦直後の東工大改革資料

ロボット研究コレクション

東工大設立時の建築物建設写真コレクション

古橋家文書資料

東工大歴史資料

東京高等工業学校学生ノート(仁木源吉氏他)コレクション

神原周関連コレクション

中田孝歯車研究資料

末松安晴・伊賀健一光通信研究資料

田中郁三光化学研究資料

白川英樹導電性高分子研究資料(含ノーベル化学賞受賞資料)



東工大歴史資料の他、正木退蔵、手島精一、和田小六資料等の展示



森田清・西巻正郎研究室製作等真空管コレクション

特別展示室 A

- ① 陶磁器研究コーナー：G. ワグネル、平野耕輔が指導的役割を担った陶磁器研究資料の紹介
- ② 建築資料コーナー：谷口吉郎、清家清の建築の紹介と解説
- ③ 化学、化学工学研究コーナー：神原周のシンセン合成、内田俊一と化学工学科創設、星野敏雄・佐藤徹雄によるビタミン B₂ とウルソの工業的合成、光イオン化とレーザー光化学の研究、白川英樹による導電性高分子の発見と開発～ノーベル化学賞受賞
- ④ フェライト研究コーナー：加藤與五郎・武井武とフェライト研究
- ⑤ 東工大で育った工芸・デザインの先導者たちコーナー：中田清次・板谷波山・河井寛次郎・濱田庄司・芹沢銈介・各務鐵三・辻晋六・辻常陸・島岡達三・田山精一・加藤鈿・村田浩

特別展示室 B

- ⑥ 紡織機械コーナー：紡織(学科実験)工場で使用された織機機械類(フラットカード機、豊和工業 N 型織機、大型毛織機ドブクロス、他)
- ⑦ 歯車研究コーナー：中田孝による歯車工学研究の紹介
- ⑧ ロボット研究コーナー：森政弘・梅谷陽二・広瀬茂男らによる本学におけるロボット研究の紹介と実物展示 (GAWALK、ヘビ型ロボット ACM-III、他)
- ⑨ ホログラム常設展示コーナー：医療診断用立体視システムを始めとする本学のホログラフィー研究、卒業生や国内外の芸術家による作品コレクションの紹介
- ⑩ 世界的技術遺産コーナー：パーソンズタービン、スターリングエンジン、他



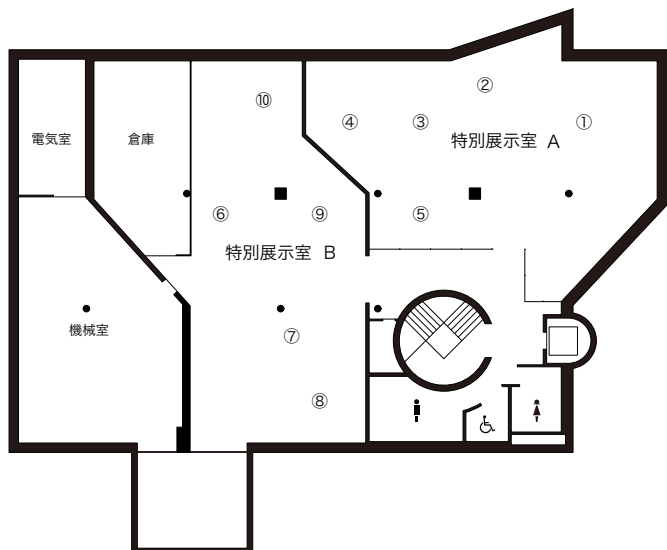
GAWALK/ 森 政弘



陶試紅 金魚 / 沼田 一雅



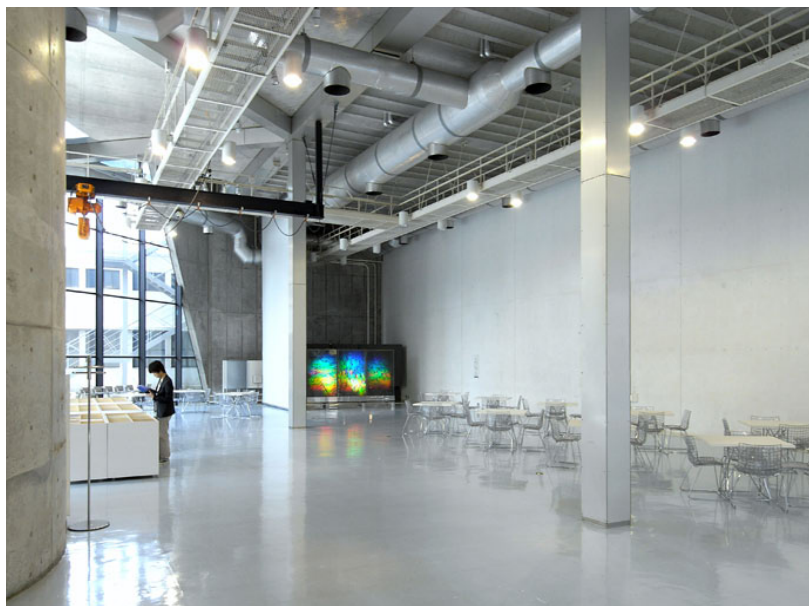
歯車研究 / 中田 孝



展示室

各種企画展示やシンポジウムなどを開催する展示空間であり、研究発表の場としても利用されています。普段は、開放的な空間を有する談話の場としてご利用いただけます。

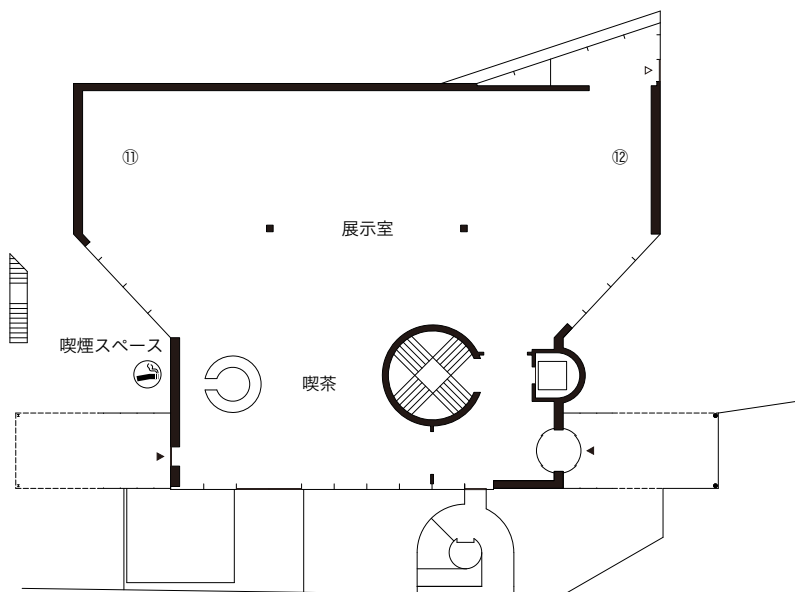
「アクエウスのつぶやき」(⑪: 石井勢津子 1995)「風景」(⑫: 岡本陸郎 1992 - 1993)を常設展示作品として展示しています。



喫茶

Mon - Fri

9:30 - 19:00 (ラストオーダー 18:00)



⑬ 東京職工学校創設～新制東工大の発展



明治 14 年に設立された東京職工学校、東京工業学校(明治 23)、東京高等工業学校(明治 34)から大学昇格(昭和 4)後、現在に至る本学の沿革に関する資料を紹介しています。

東工大年表

手島精一：工業教育の基礎を築く

正木退蔵：東京職工学校初代校長

和田小六：終戦直後の日本の全大学の改革の先頭に立つ

⑭ 電気～光 / 通信の先端研究史



東工大では 1920 年代末頃から今日にかけて、電波通信から光通信へと繋がる通信の先端技術に関する研究が続けられています。そこから生まれた多くの歴史的成果を紹介しています。

真空管開発のあゆみ

古賀逸策：高安定水晶発振子の発明
本学での光通信の先端的研究

⑮ 地球史



本学地球史資料館の提供により同館に収蔵されている地質資料及び地球史教育研究科活動の成果を紹介・展示しています。

地球・太陽系・宇宙

地球史 46 億年の地質調査

最古比べ：初期地球史の記録

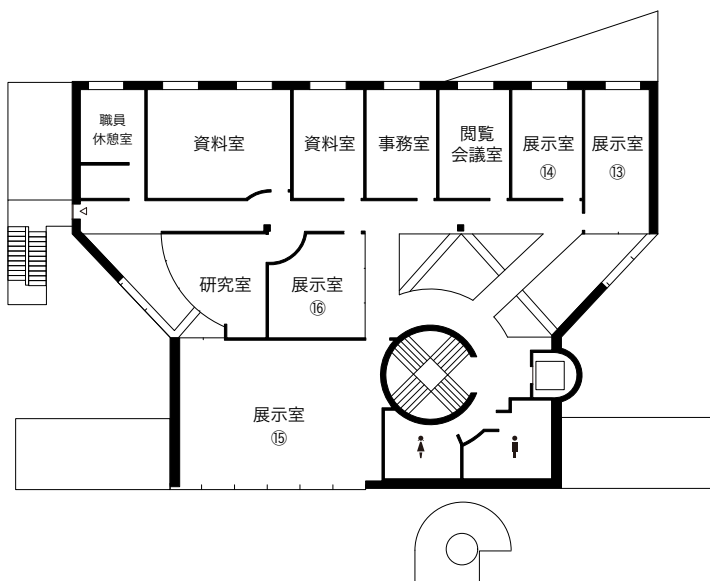
地球の生命と海と大気の歴史

地球内部を探る

⑯ 百年記念館 / 篠原一男



本学の創立 100 年を記念して設立された百年記念館の紹介と、その設計者である篠原一男の建築作品を模型を中心に展示しています。



3

フェライト記念会議室

フェライトは、酸化鉄を主成分とする酸化物磁性材料であり、1930（昭和5）年に、東工大で、加藤與五郎教授と武井武助教授が発明し特許を取得しました。最初に、強力な永久磁石となるコバルトフェライトが合成され、次いで、優れた高周波磁心材料特性を有する「銅－亜鉛フェライト」が合成されました。

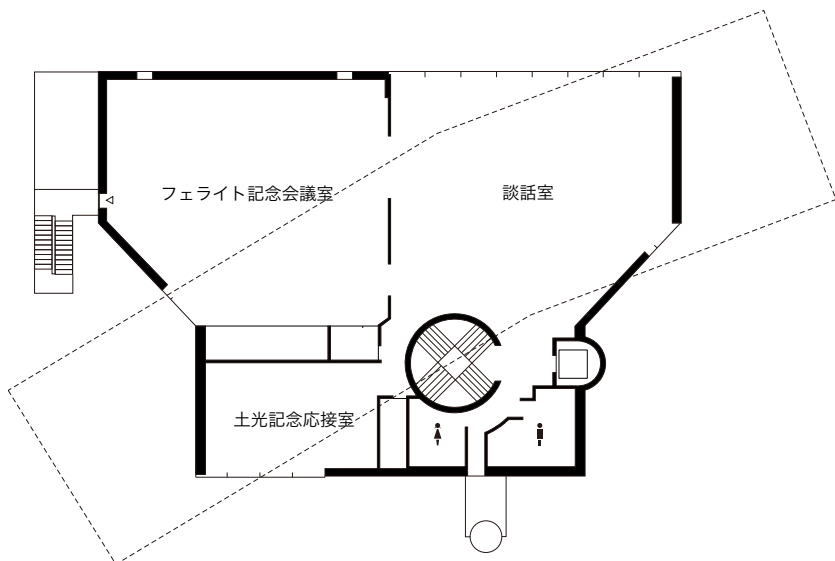
「銅－亜鉛フェライト」は、1935年に加藤與五郎教授から特許の使用許可を得た斎藤憲三が東京電気化学工業株式会社（現在のTDK株式会社）を設立し、製品化が開始されました。フェライトの工業化は同社の二代目社長山崎貞一氏の時代に、我が国のエレクトロニクス産業の成長に伴い大きく発展し、現在では世界中でフェライトが生産されています。

フェライトは東工大で生まれ、その工業化が卒業生らの手で行われ、社会に大きく貢献しました。このことを記念して、この会議室は「フェライト記念会議室」と命名されました。



談話室

フェライト記念会議室前の談話室は、会議の予定が無い時間帯には自由にご利用いただけます。



4

レストラン・ラウンジ「角笛」

Mon - Sat

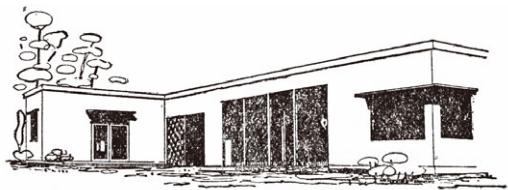
ランチ 11:30 - 13:30

バーラウンジ 17:00 - 20:30 (ラストオーダー 20:00)

予約・ケータリング受付

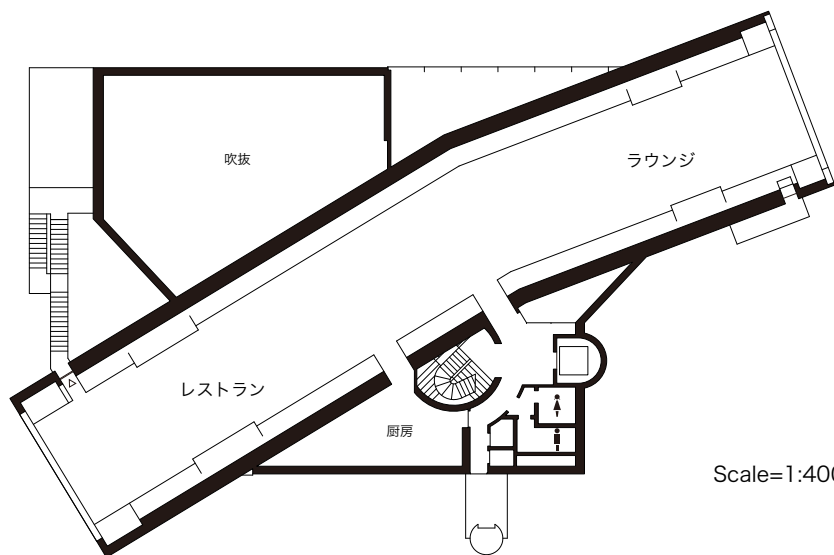
TEL : 4100 (内線) , 03 - 3729 - 7762

*土曜日は予約のみの営業となります。



東京工業大学職員集会所(「耐火建築」田辺平學著, 1949より)

百年記念館の外観を特徴付ける屈曲したハーフシリンドー内にあるレストラン・ラウンジです。かつて田辺平學・後藤一雄が考案したプレコンを用い、1949(昭和24)年に竣工した「職員集会所(蔵前記念館)」に喫茶室「角笛」がありました。この喫茶室は、当時の教職員や学生達から憩いの場として愛されていたとのこと。その後百年記念館の建設にあたり、「角笛」は4階レストラン・ラウンジとして引き継がれました。



Scale=1:400



利用案内

東京工業大学博物館・百年記念館

Mon-Sat 9:00-21:00 (祝日、年末年始等の休館日を除く)

- 常設展示室 BF, 2F
Mon-Fri 10:30-16:30 [入場無料]
- 展示室、喫茶コーナー 1F
Mon-Fri 9:30-19:00 (ラストオーダー 18:00)
- レストラン・ラウンジ「角笛」 4F
Mon-Sat (土曜日は予約のみの営業となります)
ランチ 11:30-13:30
バーラウンジ 17:00-20:30 (ラストオーダー 20:00)
予約・ケータリング受付
TEL: 4100 (内線), 03-3729-7762
- フェライト記念会議室 3F
Mon-Sat 9:30-21:00
会議室利用受付* TEL: 03-5734-2098

註* 会議室は、原則として、教育・学術を目的とし、本学の職員、本学の卒業生または職員が関係する学会その他の学術団体等が主催する会合にご利用いただくものです。

座席数: 76席 (立席150席)
部屋面積: 364㎡
(談話室176㎡も含む)

	3.5 時間	7.5 時間	11.5 時間
	9:30-13:00 13:30-17:00 17:30-21:00	9:30-17:00 13:30-21:00	9:30-21:00
使用料 A	30,000 円	60,000 円	90,000 円
使用料 B	37,800 円	75,600 円	113,400 円

- ・使用料金 A: 使用人数の半数以上を学内者が占める場合
- ・使用料金 B: 使用人数の半数以上を学外者が占める場合



〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1
東急目黒線・大井町線大岡山駅下車徒歩1分
東京工業大学大岡山キャンパス・正門脇

東京工業大学博物館・すずかけ台分館

- フロンティア創造共同研究センター棟 (S2棟) 1F 展示室
Mon-Fri 12:00-17:00 (受付16:30迄)

問い合わせ先

- 総合: 博物館事務室 (百年記念館 2F)
TEL: 03-5734-3340 FAX: 03-5734-3348
Mail: cents Shiryou@jim.titech.ac.jp
URL: http://www.cent.titech.ac.jp/
- すずかけ台分館 (研究企画課総務・管理グループ パイオ・フロンティア担当)
TEL: 045-924-5991
Mail: suzu.frc@jim.titech.ac.jp



〒226-8503 神奈川県横浜市緑区長津田町4259
東急田園都市線すずかけ台駅下車徒歩5分
東京工業大学すずかけ台キャンパス・S2棟 1階



なんでも相談 安心です
大岡山駅

おおおかやま

大岡山
ŌKAYAMA

JR東日本 山手線
大岡山駅